

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

家庭用電源コンセント(AC 100V)につないでお使いください。

電源コードについて：

電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：

ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- ウーファーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

主な仕様

アンプ部		別売りアクセサリ
定格出力	25 W (EIAJ*)	延長コード
入力端子	INPUT 1 (後面) ピンジャック	RK-G131 (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニジャック、3 m)
	INPUT 2 (後面) ステレオミニジャック	RK-C111 (ピンジャックx2 ↔ ピンプラグx2、1.5 m)
	INPUT 3 (前面) ステレオミニジャック	RK-G138 (ステレオ2ウェイプラグ ↔ ステレオミニプラグ、3 m)
	入力インピーダンス 4.7 kΩ(1kHz時)	RK-G136 (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ、1.5 m)
出力端子	AUDIO OUT(ステレオミニジャック)	RK-C330 (ピンプラグ X2 ↔ ピンプラグ X2、3m)
	出力インピーダンス 22 Ω(1kHz時)	RK-G129 (ステレオミニプラグ ↔ ピンプラグx2、1.5m)
スピーカー		プラグアダプター
型式	低音、パスレフ型	PC-236MS(ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック)
使用スピーカー	防磁型 (∅ 90 mm)	PC-234S (ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニジャック)
インピーダンス	4 Ω	
出力音圧レベル	83 dB/Wm	
電源部・その他		
電源	AC 100V(50/60Hz)	
定格消費電力	19 W	
最大外寸法	132 mm × 271 mm × 222 mm (幅 / 高さ / 奥行き)	
質量	約 3 kg	
電源コード長さ	2 m	
付属品		
接続コード(ステレオミニプラグ ↔ ピンプラグ × 2、2 m)(1)		
取扱説明書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)		

- 次のような場所は避けてください。

・直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
・窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
・風呂場など、湿気の多い所。
・ほこりの多い所、砂地の上。
・時計、キャッシュカードなどの近く。(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、ウーファーの前面に近づけないでください。)

モニター画面に色むらが起きたら

このウーファーは防磁型のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

ウーファーをさらにモニターから離してください。

さらに

ウーファーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。ウーファーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

故障かな?と思ったら

症状	処置
まったく音が出ない。	・電源コードをコンセントに差し込む。 <p>・POWERスイッチをONにする。</p> <p>・VOLUMEつまみを右に回す。</p> <p>・接続した機器の音量を上げる。</p> <p>・接続を確認する。</p> <p>・接続した機器を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">- 電源は入っているか？ - 操作は正しいか？
低音しか出ない。	接続したアクティブスピーカーが正しく操作されているか確認する。
音が割れる。	・接続した機器の音量を下げる。 <p>・VOLUMEつまみで低音を調節する。</p>

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ <p>東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111</p>

[[]* EIAJ (日本電子機械工業会)規格による測定値です。

SONY

3-858-430-01(1)

アクティブスーパーウーファー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-PC3DW

Sony Corporation © 1996 Printed in Japan

主な特長

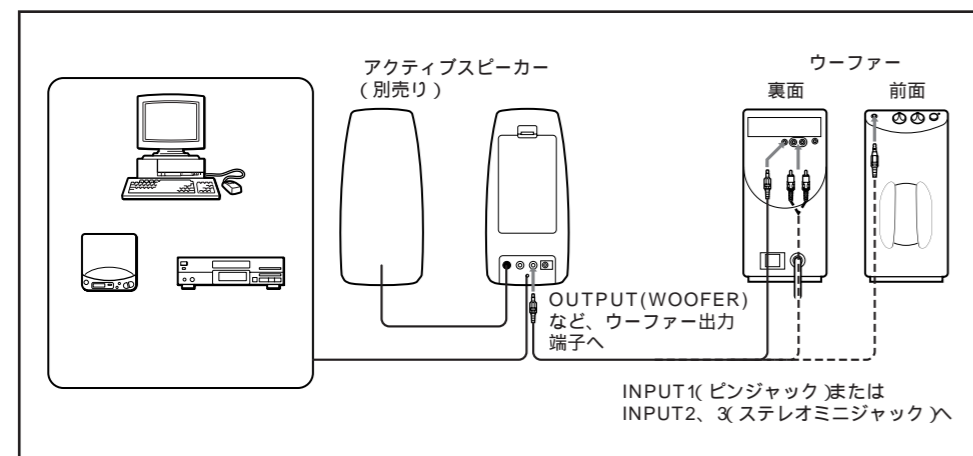
SRS-PC3DWは、アンプ内蔵のウーファーです。お手持ちのアンプ内蔵スピーカーとつなぐと、総合出力25 Wの迫力ある重低音を再生します。

- テレビやモニターのそばに置いても画面に影響を与えることが少ない防磁設計。(防磁型 / EIAJ*)
- 接続したスピーカーの特性に合わせて低域のつながりを調節できるターンオーバー機能。

*日本電子機械工業会の略称です。

接続

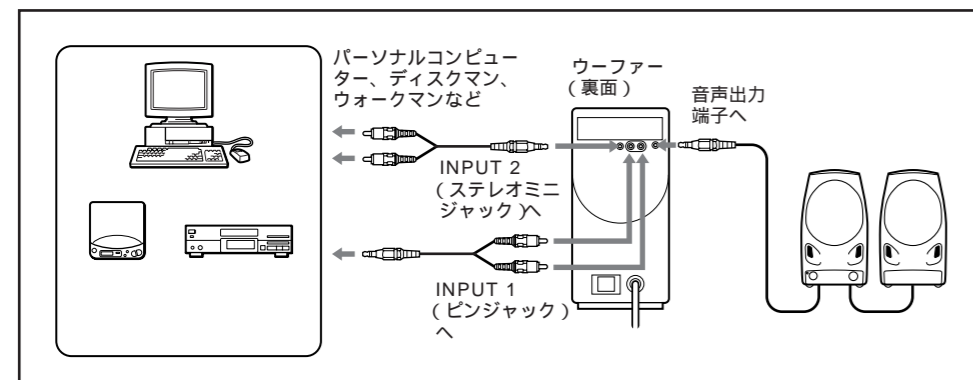
ウーファー出力端子のあるアクティブスピーカーに接続するには(SRS-PC41/PC51/PC71など)



ウーファーの音量は接続したアクティブスピーカーの音量と連動して調節できます。

INPUT 2、3に接続する場合
別売りの接続コード (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ) をお使いください。

ウーファー出力端子のないアクティブスピーカーに接続するには(SRS-PC21など)



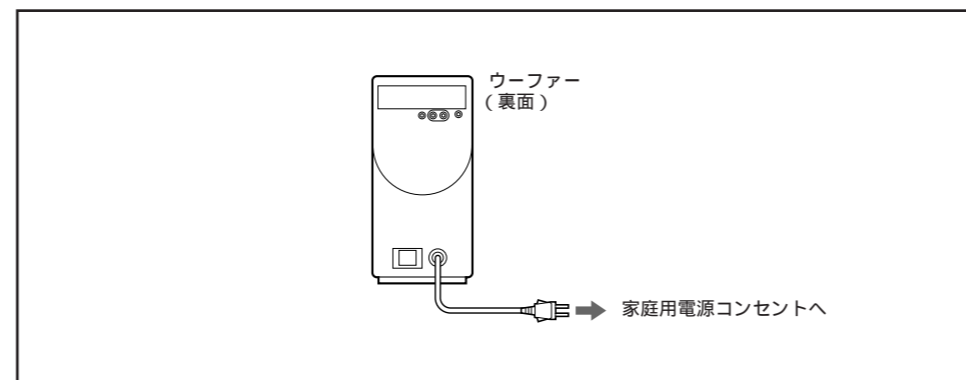
モノラルジャックにつないだときは、接続した右のスピーカーから音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャックにつなぐには別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

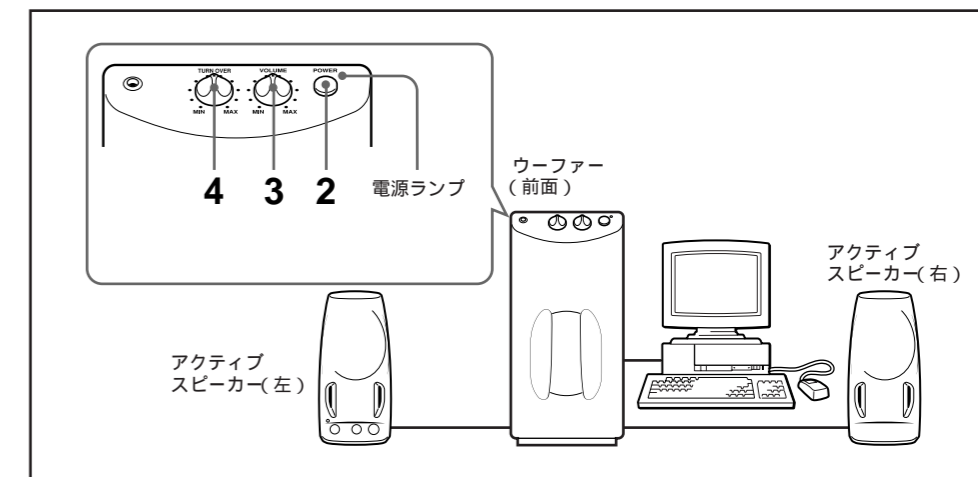
ご注意

- ・ 入力はステレオミニジャック (前面と後面) とピンジャックの3ヶ所を使用できます。複数のジャックに機器を接続して同時に演奏、再生すると、3台の機器の音が混ざって聞こえます。この場合、接続した機器側で音量を調節するか、お聞きになる方の機器だけを演奏、再生してください。
- ・ パersonalコンピューター本体に音声出力端子がついていないときは、別にサウンドボードなどが必要になります。詳しくは、お手持ちのコンピューターのメーカーや販売店にご相談ください。

電源について



使いかた



- 1 アクティブスピーカーの電源を入れる。
- 2 ^{POWER} POWERスイッチを押して^{ON} ONにする。
電源ランプが点灯します。
- 3 ^{VOLUME} VOLUMEつまみで音量を調節する。
ウーファーとアクティブスピーカーの音量のバランスが合うようにそれぞれ調節します。
- 4 ^{TURN OVER} ^{オーバー} TURN OVERつまみでアクティブスピーカーとの低域のつながりを調節する。

ウーファー出力端子のないアクティブスピーカーと接続している場合
アクティブスピーカーとウーファーの音量をそれぞれ調節してください。

アクティブスピーカーの操作については
アクティブスピーカーの取扱説明書をご覧ください。

使い終わったら

^{POWER} POWERスイッチを押して^{OFF} OFFにします。電源ランプが消えます。

ウーファー出力端子のあるアクティブスピーカーと接続している場合

いったん音量を調節すれば、あとはアクティブスピーカーの音量つまみに連動してウーファーの音量も変わります。